

事務事業No.	9-	7
事業名	子ども予防接種事業費	
会計	款	項
一般	4	1
課名	子ども家庭課	
係名		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 伝染のおそれがある疾病の発生及び蔓延を予防するため、予防接種法に基づき定期接種を実施する。 長期の入院等やむを得ない理由で、委託外医療機関で予防接種をした方に、委託単価相当額を助成する。 任意接種として生後6か月から未就学児に対する乳幼児インフルエンザ接種費用の一部を助成する。 			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)	
	1	BCG接種率	105.30%						
2	麻しん・風しん混合ワクチン接種率	93.00%							
3									
4									
5									
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			67,166		63,254		108,914		
財源 内訳	直接事業費 A		63,800		61,700		107,360		
	うち一般財源		67,166		62,897		108,914		
人件費 (千円) B			3,366		1,554		1,554		
内訳	一般職員 (人・千円)		0.51	3,366	0.2	1,320	0.2	1,320	
	臨時職員 (人・千円)		0	0	0.13	234	0.13	234	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種の円滑な導入を図る。 また、定期接種の勧奨を継続する。	③取組の課題	子宮頸がんワクチンが令和4年度から積極的勧奨が始まるが、接種者をいかに増やすかが課題である。
②R3年度に実施した取り組み	子宮頸がんワクチンの定期接種の情報提供を広報とういんで行うとともに、対象者に対しダイレクトに周知を行った。	④今後の改善計画	予防接種に係る周知啓発を継続的に行う。